

上越教育大学研究プロジェクト 終了報告書

研究代表者 所属・職名 学校教育学系・教授

氏 名 大島 崇行

研究期間 令和6年度～令和7年度

研究プロジェクトの名称	アクティブ・ラーニング実践における見取り・フィードバックモデルの構築
研究プロジェクトの概要	<p>本プロジェクトではアイトラッキングカメラを活用し、これまでブラックボックスであった、優れた教師が何を見取り評価し、学習者にどのようにフィードバックしているのかその実態を調査する。そして、それらの成果をもとに見取りとフィードバックのモデル構築を行う。</p> <p>本研究の成果は、学術研究として発表することに加え、学校現場の先生方対象に書籍として出版する。このモデルにより、アクティブ・ラーニングにおいて教師がどのように学習者を見取り・評価しているのかが示され、実践者である教師、そして、教員志望学生の力量形成に寄与すると考えられる。</p>
研究成果の概要	<p>研究協力者の教師にTobii社のアイトラッキングカメラを装着してもらい、授業実践を行ってもらった。その後、インタビューをし、その視線配布の意図をインタビューした。</p> <p>若手教師・中堅教師・熟達教師のデータから、以下のことが明らかになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一斉指導型とアクティブ・ラーニング型の授業デザインでは、教師の視線配布行動には違いがあり、それによって見取り・フィードバックの有り様が異なる。 ・熟達教師には若手・中堅とは違う見取りの姿が見れ、特に学習者理解における評価が特長的であった。 <p>本調査での結果、先行研究をもとに、見取り・フィードバックのモデルを作成した。そして、そのモデルをもとに、見取り・フィードバックの力量形成を目指す研修モデルを検討した。</p>
研究成果の発表状況 (※今後の予定も含む。)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本教育工学会研究会（秋田大学）発表（2024.5.11） ・日本教育工学会秋季全国大会（東北学院大学）発表（2024.9.8） ・日本教育工学会秋季全国大会（ウインク愛知）発表（2025.9.28） ・教師教育学会全国大会発表（宇都宮大学）発表（2025.9.19） ・今後、研究の成果をまとめ、日本教育工学会に論文投稿予定。 ・今後、研究の成果をまとめた教員向け書籍を出版予定。
学校現場や授業への研究成果の還元について	<p>学校の先生方対象に、研究成果を還元する内容についての研修を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座「子どもたちの主体的な学びを支える教師の見取りとフィードバック」3回（上越市2回、十日町市1回） ・新潟大学附属小オンライン研修「GATA+」教師の見とり ・これからの保育と幼小接続を考えるセミナー ・授業づくりネットワーク春集会

